

# 許せぬ前沖縄防衛局長の発言。 普天間にも辺野古にも基地はいらない。

「犯す前に犯しますよという人はいますか」。昨年11月28日夜、報道陣との懇談の席で田中聡沖縄防衛局長(当時)はそう発言した。米軍普天間基地の辺野古移設問題で、日本政府・防衛省が環境影響評価(アセスメント)の評価書をいつ出すかを例えての発言だ。

地元紙「沖縄タイムス」の11月30日社説は冒頭、局長発言をこう批判する。「『不適切発言では済まされない』。官僚が沖縄に向き合う姿勢の根っこにある差別のまなざしの表れである、と断じざるを得ない。しかも沖縄と女性に対する二重の侮蔑である。このような認識しか持てない官僚が沖縄防衛局のトップに居座るのは許されない」。「琉球新報」も同じ日の社説でこう指摘した。「全国の米軍専用施設(面積)の4分の3、在日米兵の約7割が集中する沖縄では、軍人が女性を乱暴する事件が過去に何度も起きている。そのような悲しい事実を知りながら、評価書の提出を性的暴力に例えるのは常軌に逸した言動だ。県民をさげすみ、陵辱される対象と捉える意識が透けて見える。人権感覚を欠いた人物は局長に値しない」と。

同局長は更迭されたが、日本政府は昨年12月28日未明、評価書の提出を強行した。謝ったふりははしても、沖縄に基地を押しつける姿勢を改めようとはしていない。米国の意に従い、何度も何度も示された沖縄の民意を踏みにじろうとしているのだ。沖縄の人々の闘いを孤立させてはならない。横須賀基地、厚木基地をはじめ、沖縄の次に多くの米軍基地を抱える神奈川県から、連帯の声を発信、行動を起こそう。



## 糸数慶子さんプロフィール

1947年、沖縄県読谷村に生まれる。高校卒業後、バス会社勤務などを経て、平和バスガイドとして活躍、その草分けとなる。1992年、沖縄社会大衆党から沖縄県議選に出馬、当選。「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」の設立にも関わる。2004年、参議院選挙に出馬、当選。2006年、沖縄県知事選に出馬、惜しくも落選。2007年の参院選に当選し、現在に至る。

## 川平朝清さんプロフィール

1927年、台湾・台中市に生まれる。戦後、沖縄民政府の芸術課長、琉球放送アナウンサー、沖縄放送協会役員、昭和女子大学副理事長などを歴任。現在、横浜市青葉区に在住し、東京・沖縄県人会の会長を務める。ディスクジョッキー・タレントとして活躍するジョン・カビラ、同じく活躍中の俳優・タレントの川平滋英の父親でもある。



## ■映画紹介

### 「また、また、辺野古になるまで(2012年版)」

監督は藤本幸久さん。2008年以降、沖縄(辺野古)、北海道(矢臼別)、韓国(梅香里)など米軍、米兵の問題を告発する数多くの作品を手がける。現在「海のアイヌ」「OKINAWA戦世」(仮題)を製作中。今回の上映作品は2012年2-4月に行うキャラバン活動に向け製作中のもの。